

研究協力をお願い

【研究名】分娩後異常出血に IVR を施行した症例の検討

【研修責任者】総合土浦協同病院 産婦人科 新井佳奈

説明内容：

1. はじめに

産後出血は妊産婦死亡の主要な原因の 1 つで、初期対応の遅れが母体予後を大きく左右します。産後出血の治療法には子宮収縮薬の投与や輸血、外科的治療などさまざまなものがあります。産後出血の治療法の 1 つとして挙げられる動脈塞栓術（interventional radiology：IVR）は大腿の血管からアプローチして子宮への血流を送っている血管を詰めることで、子宮への血流を減らし出血を抑えます。子宮動脈塞栓術は外科的治療と比べ侵襲が少なく子宮温存が可能なためよく用いられています。しかし動脈塞栓術のみでは止血が得られない症例や、動脈塞栓術後に子宮での感染や組織の壊死といった合併症を発症することもあります。再出血や合併症により動脈塞栓術後に子宮全摘術などの外科的治療を要することもあり、IVR の適応については議論の余地と考えます。そのため当院で分娩後に IVR を施行した症例の経過について把握し、IVR がより有効な症例について検討を行います。

2. 研究の概要

2019 年 4 月から 2024 年 3 月までの期間に出産後多量性器出血を来たして、当院で動脈塞栓術を施行した患者さんが対象となります。研究データ保存期間は倫理委員会承認日から 2026 年 12 月までになります。

この研究は過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究になります。

カルテの診療情報として次のようなものを利用させていただきます。

識別情報（生年月日、年齢）、妊娠・分娩の経過（妊娠方法、分娩週数、分娩方法、分娩時出血量）、既往（妊娠分娩歴、手術歴）、出血原因、治療後の経過

3. 個人情報の取扱い

本研究で収集した情報から患者さんを直接同定できる情報は匿名化して管理し、電子カルテ PC 内の研究責任者内のフォルダで保管し厳重に管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表を予定していますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

4. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

問い合わせ先

〒300-0028 茨城県土浦市おおつ野4丁目1-1

総合病院土浦協同病院 産婦人科 新井 佳奈

TEL：029-830-3711